



2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月13日

上場会社名 フェスタリアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2736 URL <https://www.festaria.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 姉川 清司 (TEL) 03-5768-9969
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	5,114	1.4	△161	—	△172	—	△149	—
2019年8月期第2四半期	5,042	3.9	28	—	16	—	1	—

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 △131百万円(—%) 2019年8月期第2四半期 0百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	△126.88	—
2019年8月期第2四半期	1.65	1.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	9,290	1,525	15.9
2019年8月期	8,693	1,695	19.0

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 1,479百万円 2019年8月期 1,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う事業活動への影響が見込まれ、現時点では業績に与える影響に未確定要因が多いことから、業績予想を合理的に算定することが困難となっております。したがって、2019年10月16日に公表した2020年8月期の連結業績予想は未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期2Q	1,191,700株	2019年8月期	1,190,800株
② 期末自己株式数	2020年8月期2Q	25,925株	2019年8月期	13,884株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期2Q	1,174,524株	2019年8月期2Q	1,172,293株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年9月1日～2020年2月29日）におけるわが国経済は、雇用情勢は比較的堅調に推移したものの、企業収益が弱含みとなり、設備投資の減速や所得環境の改善に鈍化がみられました。また、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題、中東情勢の不安定化に伴う海外経済の不確実性が増すなか、新型コロナウイルスの感染拡大により、先行きは不透明な状況で推移しました。

宝飾業界におきましては、人材不足の慢性化に伴う人件費の高騰に加え、台風など相次ぐ自然災害の発生、消費税率の引き上げや新型コロナウイルス感染拡大の影響により消費マインドが一層悪化するなど、厳しい事業環境となりました。

このような環境のもと、当社グループは、2020年に創業100周年を迎えるにあたり、次の100年への歩みに繋げる節目の年と位置付け、これまで培ってきた強みの徹底と進化を基本方針として、企業ミッションの実現に向けた取り組みを進めております。

その中核となる取り組みとして、成長ドライバーである主力商品“Wish upon a star”の更なる競争優位性を確立すべく、2019年10月にダイヤモンド研究所を設立し、トレーサビリティレポートの導入をはじめ、最高品質のダイヤモンド原石の探求や研磨技術の研究を行うなど、高品質でより付加価値の高い商品の開発・提供に向けた取り組みを進めました。

また、2020年2月には、デジタルとリアルを融合したジュエリーブランド「Diaplus produced by festaria（以下、ディアプリュス）」を銀座三越店にオープンしました。ディアプリュスは、「Diamond（ダイヤモンド）+Plus（加える）」の造語であり、上質なダイヤモンドにプラスするパーソナルな満足感の提供をコンセプトに創設しました。具体的には、100種類以上のデザインと厳選された高品質のダイヤモンドルースを選んでバーチャルフィッティングできるスマートフォン専用アプリを使用し、ファッションからブライダルに至るまで品質にこだわったパーソナルオーダーが可能となります。店頭はもちろん、ご自宅でもお手元をご覧いただきながら、ジュエリーのご試着イメージをお楽しみいただき、お客さまご自身のセレクトでジュエリーを作り出す喜びを堪能できるサービスです。2020年4月には2店舗目となる伊勢丹新宿店での展開が実現しており、新ブランドのもとで提供するサービスを通じ、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

海外事業については、小売部門である台湾子会社の台湾貞松股份有限公司（日本名：台湾貞松(株)）では、引き続きアジア戦略の重要拠点として、インターナショナルブランド確立に向けた活動を推進しました。

生産部門であるベトナム子会社D&Q JEWELLERY Co., Ltd（日本名：ディーアンドキュー ジュエリー）では、SPA企業としてグループ全体での競争力の向上に努めたものの、現地マネジメント体制の混乱と、それに伴うサプライチェーンの非効率化が発生したため、一時的に稼働率が低下しました。

これらの結果、連結売上高は店舗数の拡大もあり、前年同四半期比72百万円（1.4%）増加しました。一方、国内既存店の売上高は、前年同四半期比で1.3%減となりました。

売上総利益は、前年同四半期比99百万円（3.1%）減少しました。主な原材料である金価格が期間平均で18.3%上昇したことに加え、ベトナム子会社製品の売上高構成比が前年同四半期比で45.6%から41.3%まで低下したことから、商品原価率が上昇しました。また、在庫処分施策を継続的に実施したことも影響し、売上総利益率が2.8ポイント低下したことが減益の要因となりました。

費用に関しては、店舗数の拡大に伴う人件費の増加に加え、新規出店や店舗改装等に要する費用、店舗家賃の増加等が主要因となり、販売費及び一般管理費は前年同四半期比90百万円（2.8%）増加し、3,265百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高5,114百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業損失161百万円（前年同四半期営業利益28百万円）、経常損失172百万円（前年同四半期経常利益16百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失149百万円（前年同四半期純利益1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は9,290百万円となり、前連結会計年度末に比べ596百万円増加いたしました。その要因は主に、受取手形及び売掛金が136百万円減少したものの、現金及び預金が591百万円、商品及び製品が142百万円増加したものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は7,764百万円となり、前連結会計年度末に比べ766百万円増加いたしました。その要因は主に、借入金の総額が665百万円、前受金が59百万円増加したものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,525百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少いたしました。その要因は主に、利益剰余金が172百万円減少したものであります。

この結果、自己資本比率は15.9%となり、前連結会計年度末に比べ3.1ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年10月16日に公表しました業績予想を変更しています。詳細につきましては、2020年4月7日公表の「2020年8月期 第2四半期連結業績予想および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	698,717	1,290,602
受取手形及び売掛金	1,059,193	922,464
商品及び製品	3,595,853	3,738,676
原材料及び貯蔵品	992,235	992,445
その他	175,531	179,276
貸倒引当金	△319	△1,091
流動資産合計	6,521,212	7,122,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,037,633	1,123,077
減価償却累計額	△500,430	△560,296
減損損失累計額	△19,900	△19,900
建物及び構築物 (純額)	517,303	542,880
機械装置及び運搬具	98,435	101,570
減価償却累計額	△71,113	△75,162
機械装置及び運搬具 (純額)	27,321	26,407
工具、器具及び備品	325,798	332,518
減価償却累計額	△240,126	△260,711
工具、器具及び備品 (純額)	85,671	71,806
土地	90,478	90,478
リース資産	523,757	535,043
減価償却累計額	△297,664	△339,593
リース資産 (純額)	226,092	195,450
有形固定資産合計	946,867	927,023
無形固定資産	168,516	155,987
投資その他の資産		
投資有価証券	81,965	81,961
繰延税金資産	180,326	234,539
差入保証金	635,251	614,947
その他	165,320	160,000
貸倒引当金	△6,298	△6,686
投資その他の資産合計	1,056,566	1,084,763
固定資産合計	2,171,950	2,167,774
資産合計	8,693,163	9,290,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727,309	864,696
短期借入金	2,513,640	2,964,480
1年内返済予定の長期借入金	638,932	704,835
未払金及び未払費用	627,921	577,405
未払法人税等	—	10,001
前受金	274,224	333,916
リース債務	112,472	104,758
賞与引当金	32,279	40,037
その他	101,405	65,592
流動負債合計	5,028,186	5,665,723
固定負債		
長期借入金	1,273,531	1,421,900
リース債務	209,504	167,751
退職給付に係る負債	258,238	271,876
その他	227,735	236,906
固定負債合計	1,969,009	2,098,434
負債合計	6,997,195	7,764,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,484	801,934
資本剰余金	608,793	609,243
利益剰余金	295,574	123,008
自己株式	△13,620	△34,106
株主資本合計	1,692,231	1,500,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	86
為替換算調整勘定	△37,075	△20,132
退職給付に係る調整累計額	△588	△294
その他の包括利益累計額合計	△37,574	△20,339
新株予約権	41,310	46,250
純資産合計	1,695,967	1,525,990
負債純資産合計	8,693,163	9,290,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
売上高	5,042,185	5,114,880
売上原価	1,838,887	2,011,099
売上総利益	3,203,298	3,103,780
販売費及び一般管理費	3,175,067	3,265,263
営業利益又は営業損失(△)	28,231	△161,482
営業外収益		
受取利息	297	506
受取家賃	600	—
為替差益	13,247	22,230
その他	417	790
営業外収益合計	14,562	23,527
営業外費用		
支払利息	22,073	24,826
その他	3,764	10,044
営業外費用合計	25,837	34,870
経常利益又は経常損失(△)	16,956	△172,825
特別利益		
受取補償金	—	10,765
特別利益合計	—	10,765
特別損失		
店舗閉鎖損失	4,153	—
固定資産除却損	9,715	34,303
特別損失合計	13,868	34,303
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,087	△196,363
法人税、住民税及び事業税	8,671	7,031
法人税等調整額	△7,519	△54,366
法人税等合計	1,152	△47,335
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,935	△149,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,935	△149,028

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	1,935	△149,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△252	△3
為替換算調整勘定	△2,883	16,943
退職給付に係る調整額	1,830	294
その他の包括利益合計	△1,305	17,234
四半期包括利益	629	△131,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	629	△131,793
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,087	△196,363
減価償却費	160,387	165,791
固定資産除却損	9,715	34,303
店舗閉鎖損失	4,153	—
株式報酬費用	6,912	5,104
支払利息	22,073	24,826
受取利息及び受取配当金	△297	△506
為替差損益(△は益)	△220	△5,550
売上債権の増減額(△は増加)	130,682	142,809
たな卸資産の増減額(△は増加)	△302,540	△125,139
仕入債務の増減額(△は減少)	50,824	131,967
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,636	7,620
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,911	13,638
その他の資産の増減額(△は増加)	△33,218	△26,127
その他の負債の増減額(△は減少)	△622	△10,116
小計	54,209	162,255
利息及び配当金の受取額	297	506
利息の支払額	△22,085	△25,399
支払手数料の支払額	△5,000	△3,200
法人税等の支払額	△42,162	5,117
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,739	139,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△104,575	△113,008
無形固定資産の取得による支出	△8,600	△16,525
投資有価証券の売却による収入	30,000	—
差入保証金の差入による支出	△60,760	△3,770
差入保証金の回収による収入	6,430	23,982
その他の支出	△24,174	△4,155
その他の収入	110	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,569	△113,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△264,000	650,000
長期借入れによる収入	1,150,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△439,522	△385,728
リース債務の返済による支出	△58,212	△58,826
新株予約権の行使による株式の発行による収入	190	736
自己株式の取得による支出	—	△20,485
配当金の支払額	△23,285	△23,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	365,169	562,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,283	3,800
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	187,575	591,884
現金及び現金同等物の期首残高	636,709	698,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	824,285	1,290,602

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

連結納税制度の適用

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度から連結納税制度を適用しております。